

TIB におけるエコシステムプレイヤーの
ネットワーク形成に係るコーディネート事業者への
協定金支払いに係る評価方法及びK P Iの説明

令和8年3月

東京都 スタートアップ戦略推進本部

戦略推進部 イノベーション戦略課

1 協定金支払額の評価方法

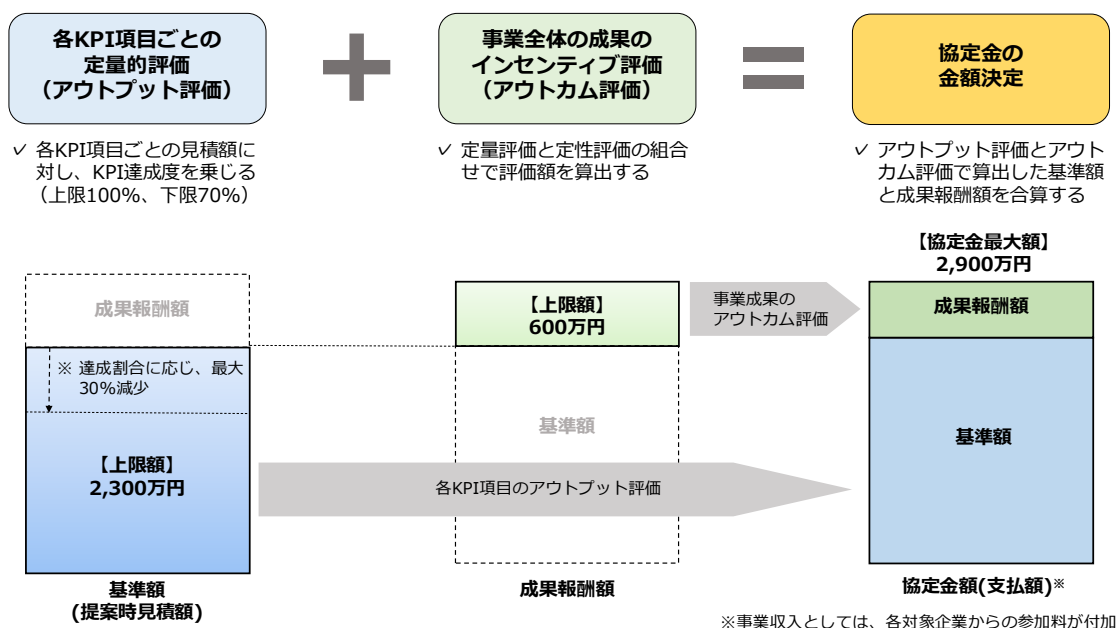
TIB におけるエコシステムプレイヤーのネットワーク形成に係るコーディネート事業者（以下「本事業者」という。）は、応募時に協定金見積額（以下「基準額」という。）及びK P Iの設定、その設定方針の提示が必要です。協定金の支払いにあたっては、外部有識者を含むK P I評価委員会により、達成度合い等の事業の成果を総合的に評価します。

東京都（以下「都」という。）は、K P Iの達成状況及び事業全体の成果を定量面・定性面の2つの観点から評価し、評価結果に応じた協定金の支払いを行います。

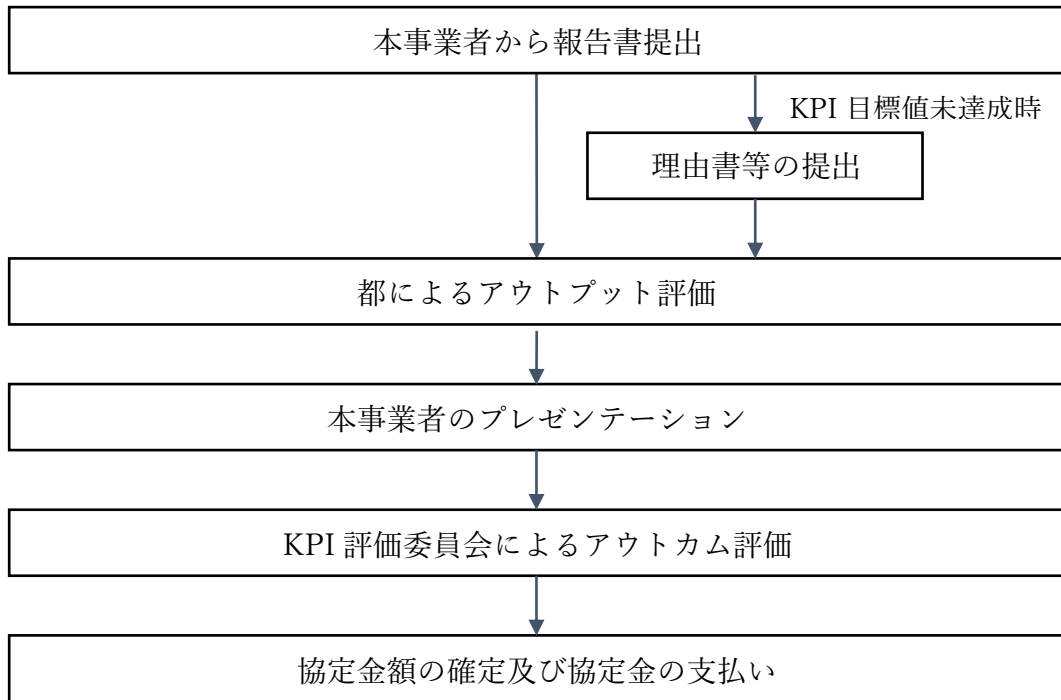
K P Iの達成状況及び事業全体の成果の報告は事業終了後に行い、それに基づき、K P I評価委員会による事業全体の評価が行われ、協定金の支払金額が確定します。そのような評価設計の中、本事業の目的達成や品質管理のために都で設定したK P I指標を必達条件とし、都が一律に定量的評価（アウトプット評価）を行います。これらの数値目標を満たさない場合は、基準額から達成率に応じ、減額された基準額の支払いになる場合があります。

次に、K P I評価委員会が定量・定性の両面からインセンティブ評価（アウトカム評価）を行い、本事業趣旨の実現を促進・加速させるような効果を創出したと判断された場合は、上記の基準額に加え、インセンティブ（成果報酬）が追加され、最大2,900万円が支払われます。上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージは以下のとおりです。

【協定金決定までの流れ】



【達成状況の確認方法】



2 KPI 評価について

(1) アウトプット評価

KPI 指標については、本事業の目的達成や品質管理を最低限保証する目的で都が定めています。応募時には、「TIB におけるエコシステムプレイヤーのネットワーク形成に係るコーディネート事業者 KPI 設定説明書」により提案してください。

定量評価では、公平性の観点から各本事業者の達成度合いを統一した基準で計るため、KPI 項目毎に数値目標及びそれらが達成されたと判断するために各 KPI 達成状況を客観的に確認できる根拠資料（コンタクトリスト、議事録等）を提出する必要があります。（各必須項目の数値目標及び留意事項は、以下の①必須項目をご参照ください。）

これらの KPI 指標が達成されない場合は、協定金の支払い金額が基準額から減額となる可能性があります。

また、未達成の場合や根拠資料に不備がある場合は、理由書をご提出いただきます。提出いただいた理由書等を基に、目標値に未達成となった背景・要因等を評価委員会で検討し、最終的な評価額を決定いたします。

① 必須項目

協定金支払金額の審査時において、必達条件となる数値目標は以下のとおりです。

KPI 項目		数値目標	留意事項	『達成』根拠
必須	新たに繋がる海外諸国のプレイヤー数	20 都市以上	○アウトカム評価の観点を念頭において繋がりを構築すること ○国・地域の政府関係者に関しては首都のプレイヤーとみなす。	コンタクトリスト、会議録等
	海外エコシステムプレイヤーと国内エコシステムプレイヤーとの交流機会の創出	4 件以上	○イベント形式での交流機会を実施する場合は参加者 30 名以上規模を 1 件とする。なお、内容は海外エコシステムの理解が深まるものとする ○アウトカム評価の観点を念頭にした取組とすること	交流内容の実施報告書(実施概要・プレイヤーのリスト、イベント当日の説明スライド)等
	DEI を推進するプレイヤーとのネットワーク形成・深化及び見える化	20 団体以上	○TIB でのイベントの合同企画やセッションへの参画やエコシステム関係者に対する活動が見える化された団体数をカウントする。 ○SusHi Tech Tokyo2026 と連動した取組を実施すること	取組の実施報告書(実施概要・登壇・参加者リスト)、各団体の活動が掲載された WEB ページ等
	東京のスタートアップエコシステムにおける DEI への理解の促進	5 件以上	○研修会形式で 2 回以上実施すること なお、都のスタートアップ支援事業の採択事業者向けの研修を 1 回以上実施すること ○TIB で実施される大型イベントに合わせて、DEI の理解促進(啓発)を目的とした告知を 1 回以上実施すること なお、大型イベントとは参加予定者 150 名以上のものを指	研修会・交流会等の開催報告、告知資料等

			す。	
	国内外のキープレイヤーが集う場のコーディネート	4セッション以上	<p>○海外のエコシステムの最前線を議論できるプログラムを1件以上行うこと</p> <p>○世界に向けた日本のスタートアップ・エコシステムの発信をテーマに、「国内支援の最新動向」や「各地域の特色ある取組」を紹介するプログラムを2件以上実施すること</p> <p>○DEIの現在地を確認し、今後について議論するプログラムを1件以上実施すること</p> <p>○海外在住のプレイヤーを合計で3名以上招へいすること</p> <p>○各セッションの時間は一つあたり最大2時間とする</p>	

(2) アウトカム評価

インセンティブ評価時には、アウトプット評価以外にKPI評価委員会が多様化、戦略性の観点から定性的な評価と、定量的な成果から事業全体の評価を行います。委員により、本事業趣旨を実現する効果を創出したと評価される場合、基準額に成果報酬額を加えた金額が協定金の支払額となります。

【定性的な評価の観点】
<p>① 多様化：日本・東京のスタートアップ・エコシステムの多様化に貢献できたか。</p> <p>（例：一部の地域やコミュニティに限定せず、国内外から幅広く様々な領域のプレイヤーを誘引したか。）</p> <p>② 戦略性：日本・東京のスタートアップ・エコシステムの拡大に資する繋がりを戦略的に構築することができたか。</p> <p>（例：今後成長が期待される国・地域（アジア・中東・アフリカ・東欧等）のスタートアップ・エコシステムとの関係構築ができたか）</p>
【定量的な評価の観点】
<p>TIBのプラットフォームとしての活動や東京のスタートアップ・エコシステムにおけるDEIの推進活動が、スタートアップ関係者に広く浸透したか。</p> <p>（例：研修会開催やアンケート実施による指標、海外カンファレンスでのPR活動結</p>

果)

<成果報酬額算出方法>

定量的な評価の観点「基礎点」、定性的な評価の観点「加減点」として算出し、それぞれの合算により S～D の 5 段階評価を行い、アウトカム評価に基づく成果報酬額を決定します。